

# 港中だより

伊勢市立港中学校 No.18

R3. 11. 5

校長 金森 晃生

## 運動会開催！



10月28日に運動会を行いました。予定より1か月以上遅くなりましたが、当日はよく晴れ、少し風がありましたが、絶好の運動会日和でした。ただ、感染症の影響で、種目を大幅に削減し、時間も短く、多くの競技は学年別に行いました。

各学年とも、学年生徒会が開閉会式を行うなど、それぞれ工夫して取り組んでくれました。1年生は、3人で協力して竹の棒を運ぶリレー、2年生は2人で大玉を転がしながら、コーンを回るリレー、3年生はクラスの団結力が重要な大縄跳びを行いました。また、すべての学年で、全員リレー、学級代表による400mリレー、最後に全校生徒による迫力の、港中ソーランを披露しました。

運動会中は、マスクを着用しての応援や競技、声を出さず拍手だけでの応援、見学時の人との距離など、どうすれば感染リスクを減らすことができるのかを考え、行動してもらいました。また、時間短縮や種目の削減をする中で、一生懸命に競技し、応援してくれたみなさんの協力に感謝します。制限された中でも、みなさんが楽しそうに競技や応援している姿を見て、大変うれしく思いました。運動会後の感想には、「種目が減って残念だった」「思いっきり声を出して応援できなかった」などもありましたが「思っていたより楽しかった」「クラスの団結が高まった」などと、限られた中でも楽しんでくれた感想もたくさんありました。特に3年生のみなさんは、中学校最後の運動会でしたが、みんなで協力し、盛り上げてくれました。表彰式でも話しましたが、3年生はリレーメンバーがクラスの応援席に戻ってくると、順位に関係なく、どのクラスも拍手で迎え、労いの声をかけていることに「さすが3年生、クラスや学年がまとまって港中を引っ張ってくれているのだなあ」と感じました。当日までの、ソーランの練習も3年生が中心となり、その伝統を後輩に引き継いでくれました。

また、生徒会本部役員のみなさん、ありがとうございました。夏休み中に今年のスローガン「無敵の港愛～一日一生本気の心で～」の横断幕を作成してもらい、運動会当日には体育館前に張ってもらいました。全校生徒の本気と、港愛を感じました。



# 津波防災の日

11月5日は「津波防災の日」です。これは平成23年3月に発生した「東日本大震災」を教訓として、津波対策などを推進するためにできた法律に規定されました。11月5日の由来は、嘉永7(1854)年11月5日の安政南海地震で、和歌山県を津波が襲った際、「稲むらの火」の逸話にちなんだ日から制定されました。(稲むらの火は何か調べてみてください)日本各地で、防災や津波に関する行事が行われます。私たちも、この機に防災や津波について考えてみましょう。

## ～ 港中活躍しています～

### ◎伊勢度会中学校陸上競技3年生大会

1位	女子100m	藤倉 なをり
3位	女子200m	川合希良
4位	男子三段跳	寺田勘汰
	女子4×100mR	磯田・藤倉・山口・川合
7位	男子200m	成川佳汰
	女子100m	磯田姫乃音
	女子走幅跳	出口菜穂
8位	男子200m	辻 大暁
	女子800m	竹内 潤
	男子4×100mR	辻大暁・成川・辻剣昇・寺田



## □■□■ お知らせ □■□■

10月30日に予定されていた、文化祭が延期になりました。今年度は、11月以降の日程調整が大変難しく、12月6日(月)に合唱発表、13日(月)と14日(火)(両日とも個別懇談会)に作品展示を行うこととしました。合唱は、各学年別に行い、該当学年の保護者のみなさまも鑑賞していただく予定です。作品鑑賞は、懇談会に来ていただいたときに、展示教室を自由に見学していただこうと計画しています。時間など詳細につきましては、後日連絡させていただきます。

## ～ 保護者のみなさまへ ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また各ご家庭で検温、マスクの着用等、感染症予防対策につきましても引き続きご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、学校が再開し約1か月が過ぎました。その間、前期期末テストや運動会などありました。また、この後も後期中間テスト、修学旅行、合唱発表(今年は様子が異なりますが)、懇談会、高校入試など子どもたちにとって大変あわただしい時が続くこととなります。これまでも、感染症予防対策による制約がある中で、子どもたちは我慢することが多い、学校生活を送ってきました。さらに、感染症予防対策は引き続き行いますし、このようにあわただしい生活が続きますので、お子様に対して、気になることや不安なことがありましたら、遠慮なく学校までご相談ください。

なお、今後の予定につきましても、感染症の拡大などにより、急遽変更することもあります。ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。